

平成27年度介護支援専門員（初回）更新研修（実務経験者）プログラム

I 専門研修課程 I・・・33時間

【必須講義・演習・・・24時間】

(1) A日程・B日程・C日程のいずれかを選択してください。

		日時	課目	形式 時間	内容	
必須 課目	第1日	A日程 6月9日(火)	8:30 ～ 9:00	受付		
			9:00 ～ 9:15	開会・オリエンテーション		
		B日程 6月12日(金)	9:15 ～ 11:15	①介護保険制度論	講義 2時間	介護保険全般にわたるトピックスな話題、介護支援専門員として十分理解しておくべき事項等についての講義。
			11:20 ～ 12:20	③ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	講義 1時間	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員が基本的に備えるべき、利用者主体、自立支援、公平中立、権利擁護、守秘義務、利用者ニーズの代弁等の倫理を徹底して講義。
		C日程 6月18日(木)	12:20 ～ 13:05	昼食・休憩		
			13:05 ～ 16:05	④ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	講義 3時間	アセスメント、プランニング、ケアカンファレンス・サービス調整、モニタリングの持つ意味と重要性について実際の事例を使って講義。
	第2日	A日程 6月20日(土)	8:30 ～ 9:00	受付		
			9:00 ～ 13:45	⑤保健医療福祉の基礎理解(i) 「高齢者の疾病と対処及び主治医との連携」	講義 4時間 休憩 45分	高齢者に多い疾患の特徴(主訴、症状、病態、治療、予後等)とその対処法(介護上の注意、薬剤の特徴)、感染予防の基礎知識について講義。主治医との効果的な連携方法について事例を活用して講義。
		C日程 6月28日(日)	13:50 ～ 15:50	②対人個別援助技術 (ソーシャルケースワーク)	講義 2時間	
	第3日	A日程 7月3日(金)	8:30 ～ 9:00	受付		対人援助における面接・コミュニケーション技法を事例を活用したり、実際にロールプレイ等を活用して学ぶ。また、自らの事例を振り返るなどし、問題、課題点を導きだし、技術のレベルアップを図る。
			9:00 ～ 16:45	②対人個別援助技術 (ソーシャルケースワーク)	演習 7時間 休憩 45分	
	第4日	A日程 7月11日(土)	8:30 ～ 9:00	受付		生活保護制度、身体障害者施設、老人福祉施策、生活福祉資金などの概要について講義するとともに、関連する機関・ボランティア等との連携・協力・ネットワークの構築方法、インフォーマルな社会資源の活用と働きかけ、高齢者向け商品・サービスに関する状況、消費者センターなどの活動と連携について講義。
9:00 ～ 12:00			⑥保健医療福祉の基礎理解(ii) 「社会資源活用」	講義 3時間		
B日程 7月12日(日)		12:00 ～ 12:45	昼食・休憩			
		C日程 7月18日(土)	12:45 ～ 14:45	⑦保健医療福祉の基礎理解(iii) 「人格の尊重及び権利擁護」	講義 2時間	高齢者虐待問題の状況、介護支援専門員が業務の中で日常的に権利擁護者として果たす役割、成年後見制度や福祉サービス利用者援助事業(地域福祉権利擁護事業等)のあらましとその活用及び高齢者の虐待防止法の内容、自治体との連携等を具体的な事例を使用して講義。

【 選択講義・・・9 時間】

- (1) 選択講義⑧～⑯の9課目のうち、希望する課目(日程)を3 課目選択してください。
 (2) 会場の都合上、先着順にて受講課目を調整する場合があります。ご了承ください。

選択講義	第1日	県央 8月8日(土)	8:30 ～ 9:00	受付		
			9:00 ～ 12:00	⑧保健医療福祉の基礎理解(iv) リハビリテーション	講義 3時間	リハビリテーションの可能性・見通しに関するアセスメント(リハビリテーション・アセスメント)の必要性と意義、各サービスを活用する際のリハビリテーションの視点の重要性、リハビリテーション計画、リハビリテーション専門機関・専門職との連携方法等について。
			12:00 ～ 12:45	昼食・休憩	45分	
			12:45 ～ 15:45	⑩サービスの活用と連携(i) 「訪問介護・訪問入浴介護」	講義 3時間	自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再確認させるとともに、特色実態等を解説。活用の際の目標設定の仕方、サービス事業者との具体的な情報交換(提供しなければならない情報と提供を求める情報)・連携の方法と留意点、居宅サービス計画と訪問介護計画の関連付け、各サービスの活用事例、モニタリングの方法等について講義。
			16:00 ～ 19:00	⑪サービスの活用と連携(ii) 「訪問看護・訪問リハビリテーション」	講義 3時間	自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再確認させるとともに、特色実態等を解説。活用の際の目標設定の仕方、サービス事業者との具体的な情報交換(提供しなければならない情報と提供を求める情報)・連携の方法と留意点、居宅サービス計画と訪問看護計画、訪問リハビリテーション計画の関連付け、各サービスの活用事例、モニタリングの方法等について講義。
	第2日	県央 8月9日(日)	8:30 ～ 9:00	受付		
			9:00 ～ 12:00	⑫サービスの活用と連携(iii) 「居宅療養管理指導」	講義 3時間	居宅療養管理指導の内容を再認識させるとともに、主治医に伝えるべき情報、主治医から得なくてはならない情報について解説。居療養管理指導の活用事例、医療関係職の各用と連携について講義。
			12:00 ～ 12:45	昼食・休憩	45分	
			12:45 ～ 15:45	⑨保健医療福祉(v) 「認知症高齢者・精神疾患」	講義 3時間	認知症高齢者・精神疾患に関する、医学的、心理的基礎知識とその支援法について講義。また、認知症高齢者におけるアセスメントとケアプラン作成の際の基本的考え方、各種サービスの活用法、連携する際の留意点、家族等への支援方法について講義。
			16:00 ～ 19:00	⑬サービスの活用と連携(iv) 「通所介護・通所リハビリテーション」	講義 3時間	自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再確認させるとともに、特色実態等を解説。活用の際の目的設定の仕方、サービス事業者との具体的な情報交換(提供しなければならない情報と提供を求める情報)・連携の方法と留意点、居宅サービス計画と通所介護計画、通所リハビリテーション計画の関連付け、サービスの活用事例、モニタリングの方法等について講義。
	第3日	県央 8月10日(月)	8:30 ～ 9:00	受付		
			9:00 ～ 12:00	⑭サービスの活用と連携(v) 「短期入所・介護保険施設」	講義 3時間	短期入所サービスに活用方法、活用の際の目的設定の仕方、利用前・後の情報交換(提供しなければならない情報と提供を求める情報)・連携の方法と留意点、居宅サービス計画への位置づけ方、居宅サービス計画と短期入所生活介護・療養介護計画との関連付け、介護予防における考え方、各サービスの活用事例について講義。介護保険施設(介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設)を利用者に紹介する際の留意点や退所・退院計画を作成する際の留意点、施設担当者との連携方法について講義。
12:00 ～ 12:45			昼食・休憩	45分		
12:45 ～ 15:45			⑮サービスの活用と連携(vi) 「介護保険施設 ・認知症対応型共同生活介護 特定施設入居者生活介護」	講義 3時間	介護保険施設・認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護における施設選択の留意点、施設担当者との連絡方法について講義。また、これらの各サービス計画を作成するにあたっての留意点について講義。	
16:00 ～ 19:00			⑯サービスの活用と連携(vii) 「福祉用具・住宅改修」	講義 3時間	福祉用具・住宅改修関係の知識の向上とその導入・活用の方法、活用のための基本的な視点、福祉用具専門相談、供給事業者との連携方法、モニタリングの方法について講義。	

II 専門研修課程II

【必修講義・演習・・・8時間】

(1) 県央・県北のいずれかを選択してください。

必須講義・演習	第1日	県央 8月11日(火)	8:15 ～ 8:45	受付		
			8:45 ～ 9:00	開会・オリエンテーション		
		県北 8月12日(水)	9:00 ～ 11:00	①介護支援専門員特別講座	講義 2時間	(例)「ケアマネジメント実践報告会」「介護支援業務自己評価手法を学ぶ」「苦情と事業者指導の方法」「障害者ケアマネジメント」「高齢消費者被害の最近の事例」等ケアマネジメントと介護支援専門員をめぐるトピックスな課題等を学ぶ。
			11:05 ～ 14:50	③介護支援専門員の課題	講義 3時間 休憩 45分	介護保険制度や介護サービスを巡る諸課題及び介護支援専門員の基本姿勢・役割等について講義。あわせて、介護保険制度の理念に沿って、居宅サービス計画。施設サービス計画を作成し、サービスを提供するという目的に立ち返り、経験の振り返りを促進する。また、専門研修Iで学んだ利用者主体等の介護支援専門員の倫理についても再確認を行う。
		14:55 ～ 17:55	②サービス担当者会議演習	演習 3時間	複数の職種の参加を得て、模擬サービス担当者会議を行い、自己・相互評価を通して効果的な会議運営方法とチームケアの方法を学ぶ。	

【選択講義・演習・・・12時間】

- (1) 居宅・施設のいずれかを選択してください。
 (2) 居宅は、県北・県央の2ヶ所で開催します。
 (3) 施設は、県央1ヶ所で開催します。

選択講義・演習(居宅)	第1日	県北 8月19日(水)	9:00 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	④「居宅介護支援」事例研究	講義 6時間 休憩 45分	自立支援、利用者本位の観点から作成された居宅サービス計画の事例を取り上げ、それらがどのようなプロセスを経て作成されたのか、具体的なアセスメントの手法、サービスの活用方法、関係機関との連携手法、各個別サービス計画との関係を学ぶ。
	第2日	県北 8月20日(木)	9:00 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	⑤「居宅介護支援」演習	演習 6時間 休憩 45分	作成した居宅サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換をしながら課題分析の方法、居宅サービス計画のポイント、モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更のポイントを学ぶ。サービス担当者会議におけるサービス事業者などとの連携方法や適切な記録の手法を学ぶ。居宅サービス計画と個別サービス計画の関連について事例を通して、相互関係のポイントについて学ぶ。
選択講義・演習(施設)	第1日	8月22日(土)	9:00 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	⑥「施設介護支援」事例研究	講義 6時間 休憩 45分	施設サービス計画のポイント、施設介護における日常的な介護と計画との関連等全体の流れを理解する。自立支援、利用者本位の観点から作成された施設サービス計画の事例を取り上げ、それらがどのようなプロセスを経て作成されたのか、具体的なアセスメントの手法、各職種間、サービス提供者との連携手法、チームアプローチによる計画の組み立てを学ぶ。
	第2日	8月23日(日)	9:00 ～ 9:30	受付		
			9:30 ～ 16:15	⑦「施設介護支援」演習	演習 6時間 休憩 45分	作成した施設サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換をしながら施設サービス計画のポイントを学ぶ。特に施設入所直後の利用者の不安等を軽減する為のアプローチ、アドボカシー機能、切れ目ないチームアプローチによる安定したケア、身体拘束廃止、在宅復帰、地域との連携等について留意する。